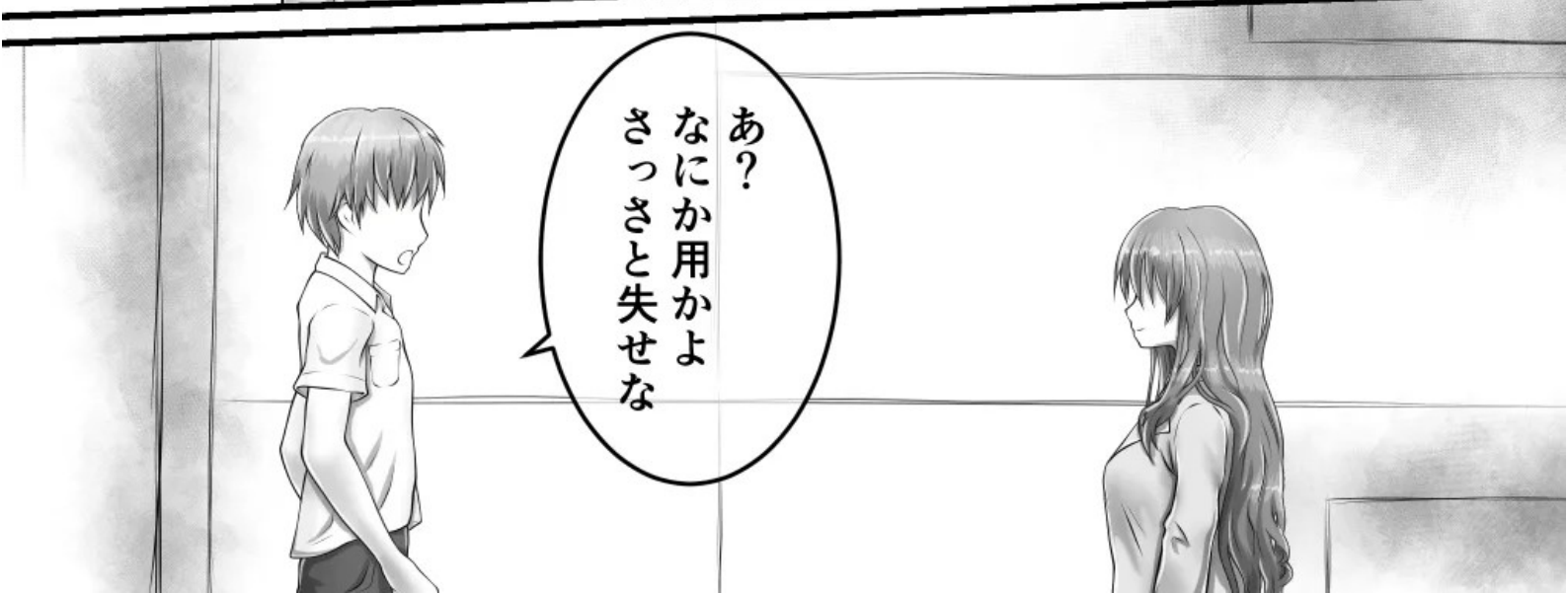
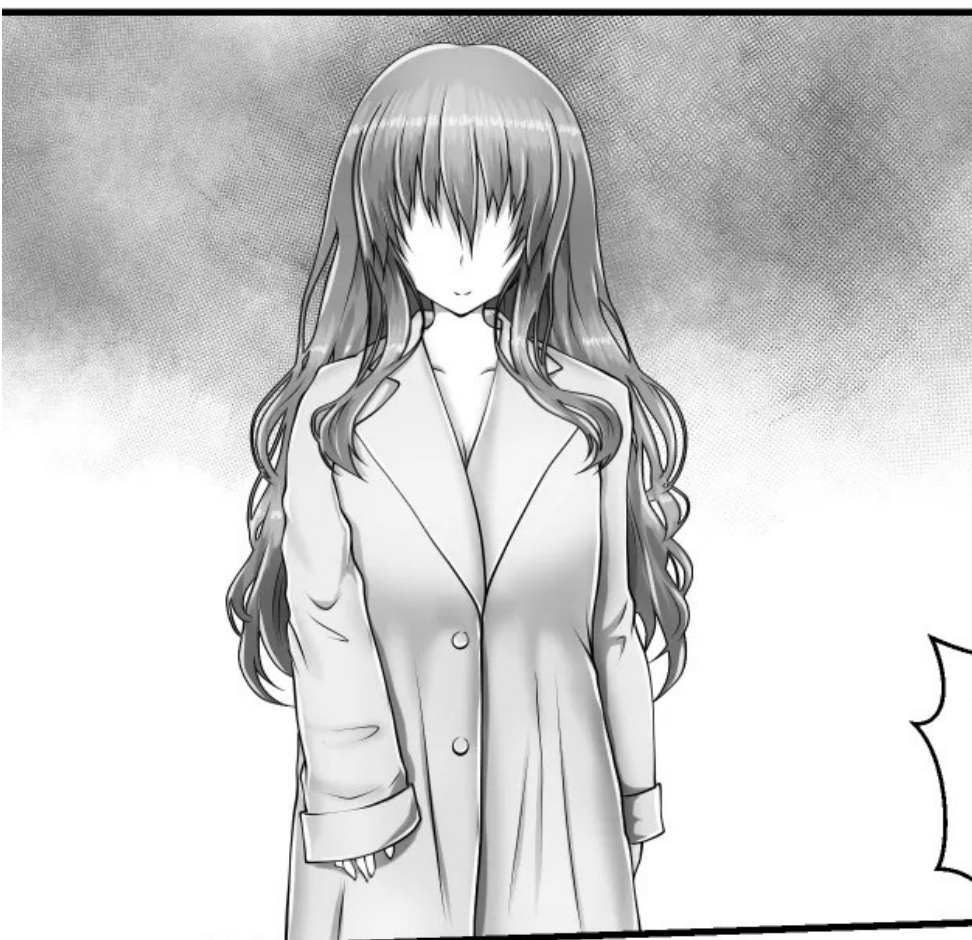


変態露出狂女 VS 不良

狐
の
虹
火
屋





ふふっ
盗みをするようなゴミが
随分と偉そうね
これはお仕置きが必要ね

あ？



あ……頭おかしいのか？
そんな格好して……
何言ってるんだこの女



私は街を影から守る正義の戦士！

あなたみたいなクズは
私が懲らしめてあげるわ！

はあっ!?



あら、酷い
私のこの美しい体を見て
そんな戯言しかいえないなんてね
所詮はゴミかしら
見る目がないわね

露出狂の痴女が
何を言ってる……

いや待て……
露出狂の痴女だと？

……そう言えば最近
街の悪共が襲撃される
という噂があったな
何でも素っ裸の女に
やられたとか何とか……

ふふっ
そうよ、それは私♪
悪さをする連中を
懲らしめてたの♡
そしてあなたで
記念すべき百人目。
覚悟しなさい♪

まさか噂が本当だったとは……
何で裸なんだ……

え？ だって興奮するじゃない♪

見られる興奮

犯されるかもしれない緊張感

ああ、最高だわぁ♡

この姿でいると

今までの連中は私を見るなり
犯そうと襲いかかってきたわ
ああ、美しいって罪よねえ♪

でもそういう

欲望にたぎった連中を
ぶちのめすのが
また快感なのよねえ♡

トロォ

……こいつ
真性の変態かよ。
大体てめえのような年増を
犯すわけねえだろう。
調子乗んなよオバサン



……何ですって……？
まだそう言われる歳じゃないわよ！
お姉さん、でしょう？

まだ20代よ！



羨のなっていない坊やね。
どうやらたっぷりと
お仕置きをされたいみたいね



噂を聞いたなら分かるでしょう？
私は屈強な男も、
複数の連中も全員倒してきてるの

倒した奴らは裸にひん剥いて
道端に放置の刑よ♪
うふふ、あいつらの間抜けな姿と顔
あなたに見せてあげたかったわあ♥

まあ、これから
あなたもそうなるのだけどね♪



そうねえ……

ちようどそこにゴミ捨て場があるし
あなたの罰は……裸にひん剥いた後、
ゴミと一緒に捨てて、
ゴミまみれの刑に決定ね
クズにはお似合いの負け方ねえ♪



あ？

調子に乗ってんじゃねえぞ



ほぎけっ！
この変態露出狂女がっ！

ふっ、威勢だけは一人前ね
さっさとかかってきなさい？
坊やに力の差を教えてあ・げ・る♥
もし万が一にも勝てたなら、
私を犯してもいいわよお？
出来るものならね♪



こうして戦いが
はじまったが……



一発だけ攻撃を
食らってあげるわあ♪

坊やあ……
いいわ、サービスしてあ・げ・る♥

あなたの攻撃なんて
屁でもないこと
教えてやるわあ
私との差を思い知るのね♥



ば……馬鹿な……

うふふっ、やっぱり
所詮雑魚は雑魚ねえ



ふふっ
まだ勝てると思ってるの？
本当にどこまでも
身の程知らずねえ

くっ、
攻撃さえ当たれば……



この……舐めやがって！



ふうん？ 狙いはどうやらお腹ね
ふっ、甘く見られたものね
お前ごときのへなちよこパンチで
私のお腹は突破できないわよ！

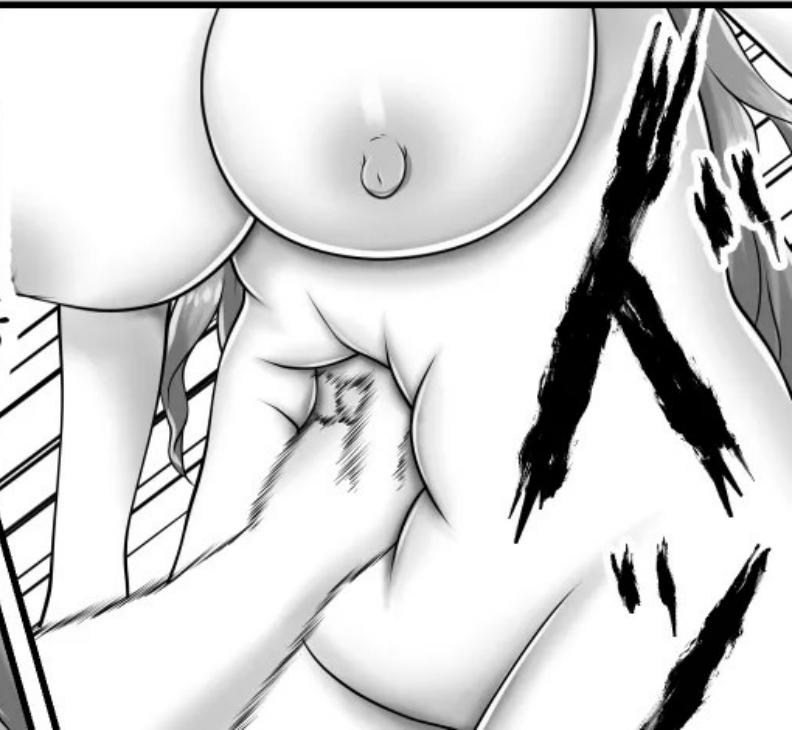
うふふっ、
私のお腹の頑丈さを
痛感しなさい♪
こいつの驚愕に染まる顔が
今から楽しみだわ♡



こいつの攻撃が終わった後は
私のターン♪
ハイパーボコボコタイムよお♡

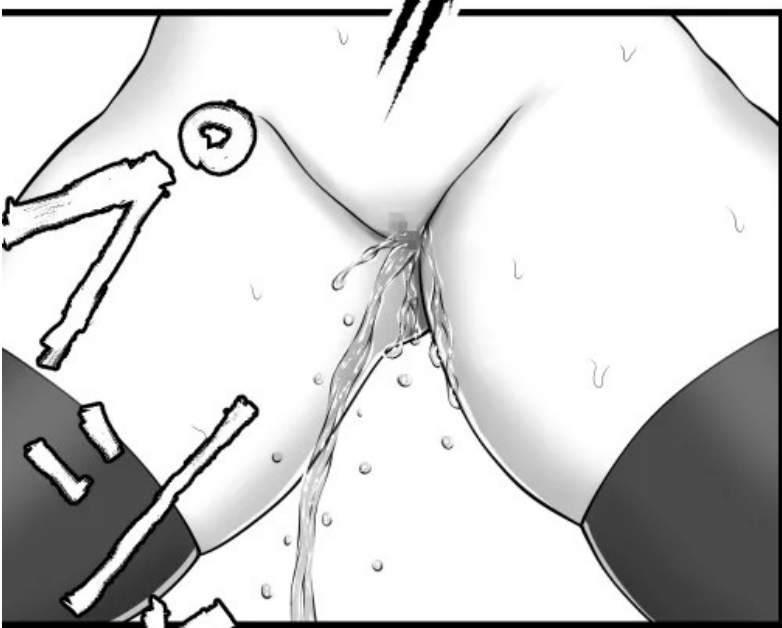


はいはい、無駄無駄あ♪



………え？
お腹にめり込んでー！？









うるせえよ

んぎよぶえええー
ーっ!!



ふごっ! うんごおおっ!
ごんなっ!
だっダメージ凄しゅぎるうう!!
おじっこ止まらないいんっ!!

いつ今までの連中とぜんぜん違っ?
こっこんな!?
ここまでダメージが大きいなんてえ!



おごっ! んごっ!
ふんごおっ!

ぶっほおおん!!



ここのまま負けたら
わざわざ敵を煽って
攻撃させた私が、
物凄いアホってことに……
とんでもない間抜けってことになっちゃう!!

そんな……そんなこと!
んおっ! おっほおお!!
おっほおおん!!





うわっ、無様すぎんだろ……
このオバサン……
どんだけ漏らすんだよ……



しよっ
勝負はこれからよ！



フル
おっ、まだやる気か？
クソ雑魚オバサン♪

あぐぶうう……
な……なんですってええ……
こっこのお……
ちよっ……調子に乗ってんじや……
ないわよ……



ふざけんじやないわよ！
こんな攻撃なんともないんだからっ！

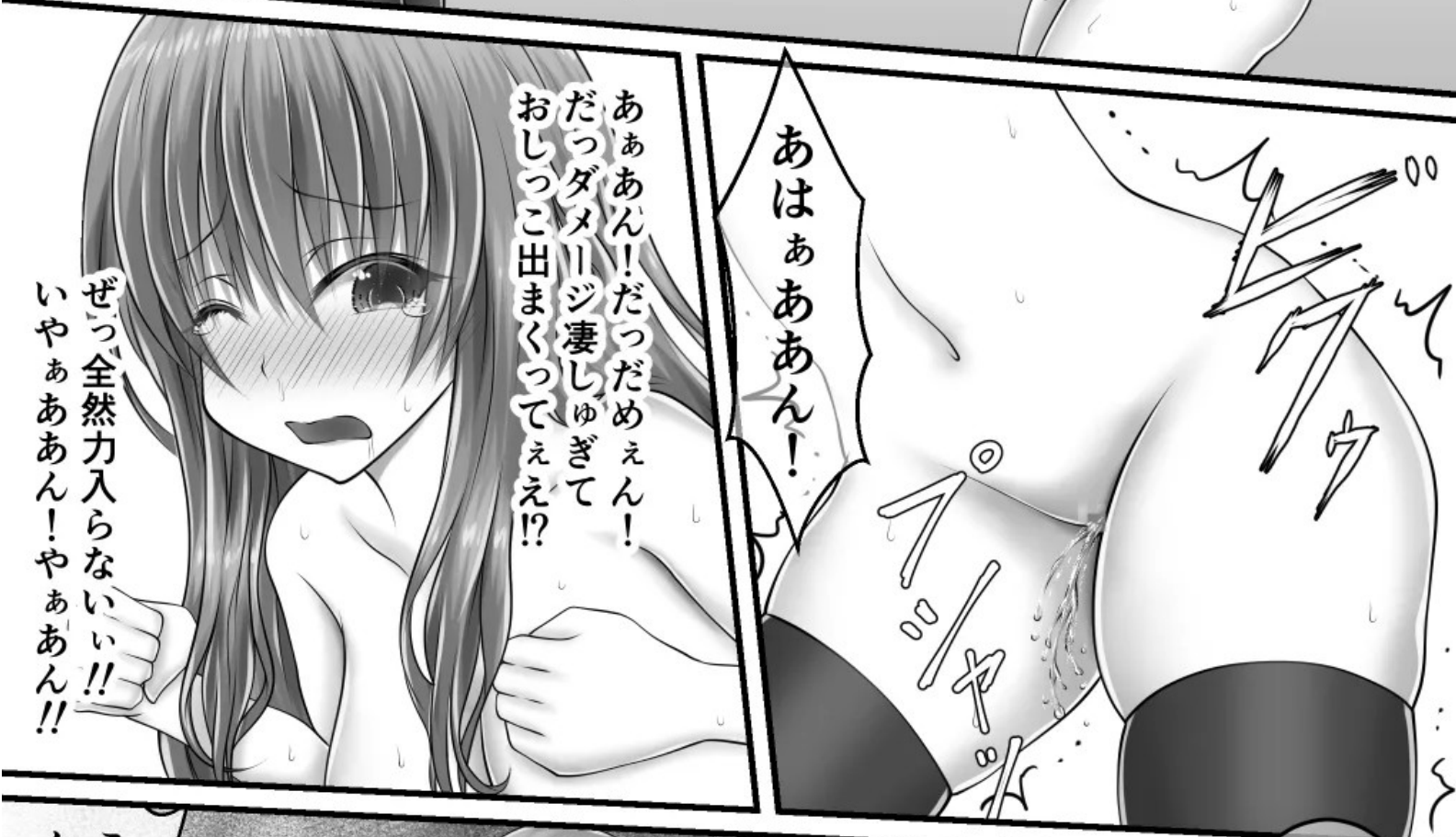
くっクソ雑魚ですってえ!?
このクソガキ！

不良 後編



変態露出狂女

狐の虹火屋





はっ
とっ

んげぼおおっ!!



あぶっ!
ぶっ!
ぶっ!
おほっ!
おひっ!

んぶっひいん!

おほおおっ!
んぶぎっ!

おきっ!
おきっひいん!



んおっおっ!
おへっ!

あぐっ!あがっ!
んあっはあーっ!!



ぶひっぎひいーっ!!



おごおおっ!
おっほっ!
おホオお!

ぶほっおっほおん!!



おごっ!
おげええっ!

んごっ!ンゴッ!
ふんごおーっ!

んほおおおっ！ぶおっおっ！
おごっ！おへっ！ぶおっへえええっ！！

ごんなっ！一方的に!!
こんなはずじゃっ！
あぶおっ！ぶへっ！
ぶほっおおおーおん！！

ほんげええっ！
ぶっへえーっ！！

そっそこだめええっ!!
そこ殴っちゃらめええっ！
おしっこ出ちゃうのお!!
むっほおおっ！ぶほっ！
おっほおおーん！！







むおっ……おっほっ
ぶお……ぶおっほおおん……



おいおい……
まだまだ
休むには早えぞ？

ぶほっ……

も……
もおやめっ
ぶっへええ



うぐっ……ううう……
ゆ……油断さえ……しなければ……
あなたなんてえ……



あぐぶううん……
おへええ……
ま……まさか……
わ……私が……
やられるなんてえ……
んほおおん……

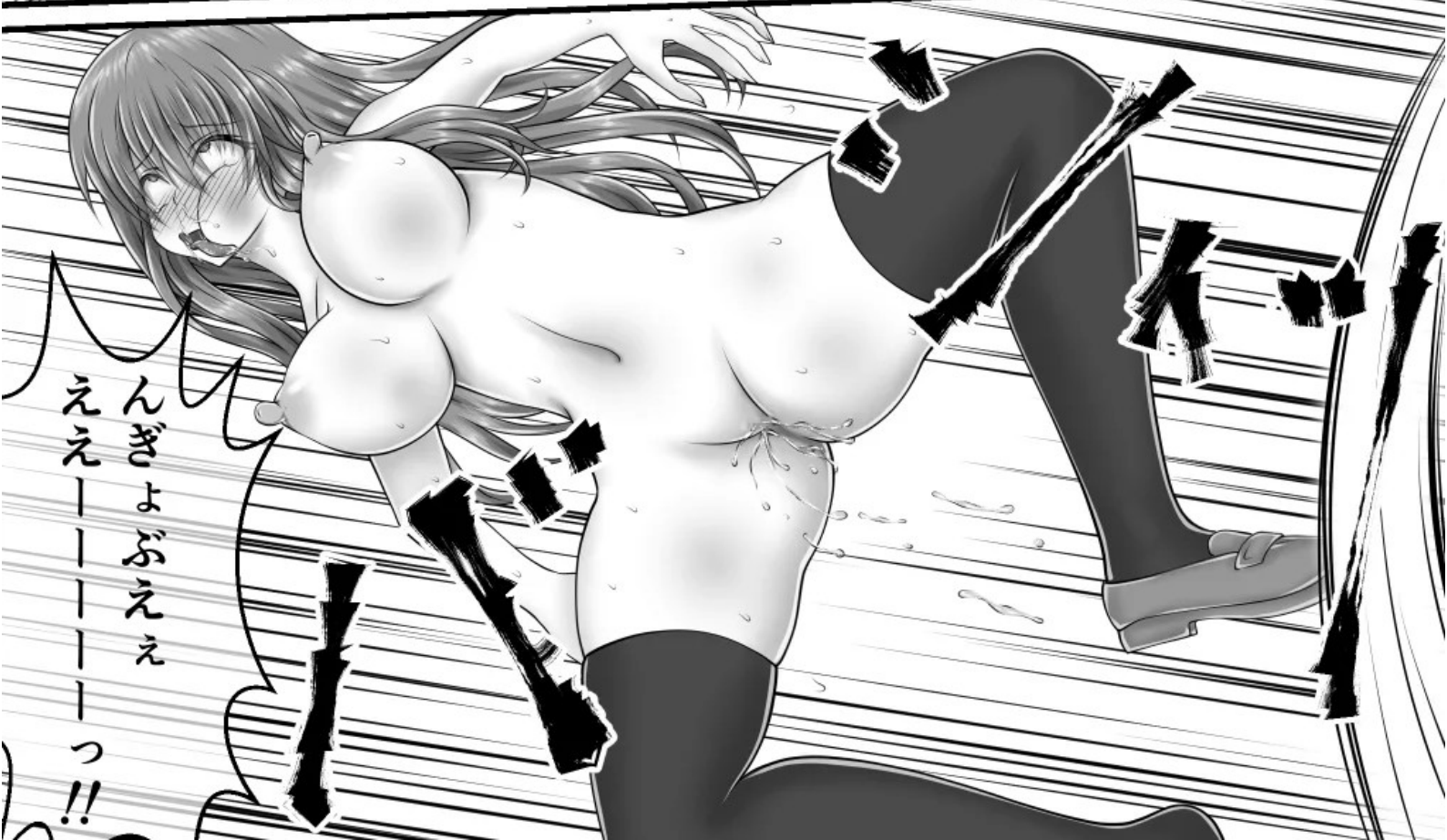
はっ、口ほどにもなかったなあ……



くうう……なっ何よ……
私を陵辱するつもり？
無駄よ、例え犯されたって
私の心は折れな……



は、負け惜しみか？
みっともねえな
まあいい。さて……
後はこの
クソ雑魚オバサンを
どうするかだが……





こうして街を影から守る
正義を名乗る
変態戦士は、
無様に返り討ちにあった。

そしてこの出来事は、
これから始まる
彼女の長い敗北人生の
幕開けとなるのであった。
終